



タイトル

## 「ウニの蓄養」実証事業の成果検証 (ウニの身入り確認)を行います

市では現在、「ウニの蓄養」に関する実証事業を進めています。  
これまで、週2回(月曜、木曜)の餌やりなどの蓄養を行ってきました。その成果確認として「ワカメの廃棄部」と「ブロッコリーの葉」との比較を行いながら、ウニの身入りを確認を行います。なお、今回は「原城温泉 真砂(南有馬町)」の料理長と協議を行い、メニューの提供など今後の利活用について検討します。

■日時: 4月28日(金) 午後2時～3時

■場所: 原城温泉 真砂(南有馬町)

＜ブロッコリーの餌やり状況＞



えさ投入前



えさ投入後

＜ウニの身入り状況＞



3月20日時点



4月20日時点

＜参考: 4月3日にプレスリリースした内容＞

本市の南西部の海岸では、磯焼け(※)が深刻な問題となっており、毎年漁業者は磯焼けの原因のひとつである「ウニ」を捕獲して駆除しています。

今般、漁業者の所得向上につなげようと、「ウニ」を駆除して廃棄するだけでなく、蓄養する実証事業を開始しました。エサについてもワカメ養殖の廃棄部分や未利用野菜(葉)などを活用しており、環境問題の面からも期待ができると考えています。

※「磯焼け」とは・・・海藻が著しく減少・消失し、海藻が繁茂しなくなる現象

【実証事業期間】 4月末まで

担当部署	農林水産部 水産課	担当者	田中 健一
直通	0957-73-6662	E mail	<a href="mailto:suisan@city.minamishimabara.lg.jp">suisan@city.minamishimabara.lg.jp</a>
詳しくは ☎	検索ワード		
担当者 連絡先			